

8月3日～5日開催
第12回

夏休み防災ツアー

～今年は福島へ行ってきました～



市民課市民交流室 ☎ (25) 1162

鳥羽ボランティアほっと ☎ (26) 7717

鳥羽市の未来を担う子どもたちに防災力を身に付けてもらうための夏休み防災ツアーを開催し、今年は福島県を訪れました。

福島は東日本大震災による津波被害、原発事故による残留放射能などの風評被害や災害関連死、今も残る帰宅困難地域など、地域に住むかたがたにとって多くの課題が残っています。

現地の様子をよく理解できるよう、今回のツアーは、危機管理アドバイザーの早川大さんに企画協力や現地同行をしていただきました。

南相馬市 原町 高見公園

震災が起きた当時、福島第一原発の事故による影響から海や川での水遊びを控えざるを得ませんでした。子どもたちに思いっきり遊んでもらおうと、クラウドファンディングなどで寄付を集めて地域清掃・公園整備を行い、地域の大人たちで「みんな共和国」を立ち上げてじゃぶじゃぶ池を作ったという話を伺いました。



昨年避難指示が解除された浪江町

浪江町の震災被害、復興を後世に語り継ぐ一般社団法人まちづくりなみえの案内で請戸漁港を見学し、今後の浪江町の復興計画や、津波により流された町の様子をうかがいました。



被災した請戸小学校付近も見学し、児童が全員早めに高台へ避難して助かったお話を伺い、日ごろの避難訓練の大切さを痛感しました。

いわき市 スパリゾートハワイアンズ

復興を願って各被災地をまわったフラガールのみなさんがいるスパリゾートハワイアンズで、フラダンスショー、温泉、流水プールなどを楽しみました。



被災地でお金を使うことも地域活性化支援ということで、ツアーに参加したみなさんはたくさんお土産を買いました。

いわき市 長源寺に宿泊

副住職の栗山周桂氏は、震災の発生後にボランティアセンターで被災者支援を行い、現在も被災地支援をライフワークとしています。震災当時の様子を優しく丁寧に説明してくださって、参加したみなさんは熱心にお話に耳を傾けました。



栗山氏の計らいで、花火やお墓での肝試しをして盛り上がりました。また、貴重な座禅修行を体験しました。



鳥羽ボランティアほっと
山本道子さん

福島県に行くということになぜか覚悟がいるように思っていましたが、行ってみるとわたしたちの鳥羽市と変わらない海が広がっていて、野菜などおいしいものがたくさんあり、人に優しいまちでした。「今度はふらっと遊びにきてくださいね」の言葉どおり、ふらっと訪ねたい場所です。

たくさんのかたの協力で防災ツアーが実現でき、無事に帰ってくることができたことに感謝しています。ツアー参加者が、この体験と参加して感じたことを大切にして、それぞれが地域、学校、職場で防災を啓発し、多くのかたに福島の実話を話してほしいと思います。